

【技術分類】 3-1-2 セントラル空調／機器据付・取付／ポンプの据付

【技術名称】 3-1-2-1 コンクリート基礎据付

【技術内容】

各空調設備に冷温水を送水するためのポンプは、通常、共通架台にモータと共に組込まれて出荷されるが、据付時に軸心のチェックを行う必要がある。同時にカップリングの外周が一致しており、カップリング間の隙間が均一であることも確認する。ポンプとモータの軸心が水平でない場合は架台の下にライナーを入れて調整する。コンクリート製基礎への据付要領を図1に示す。

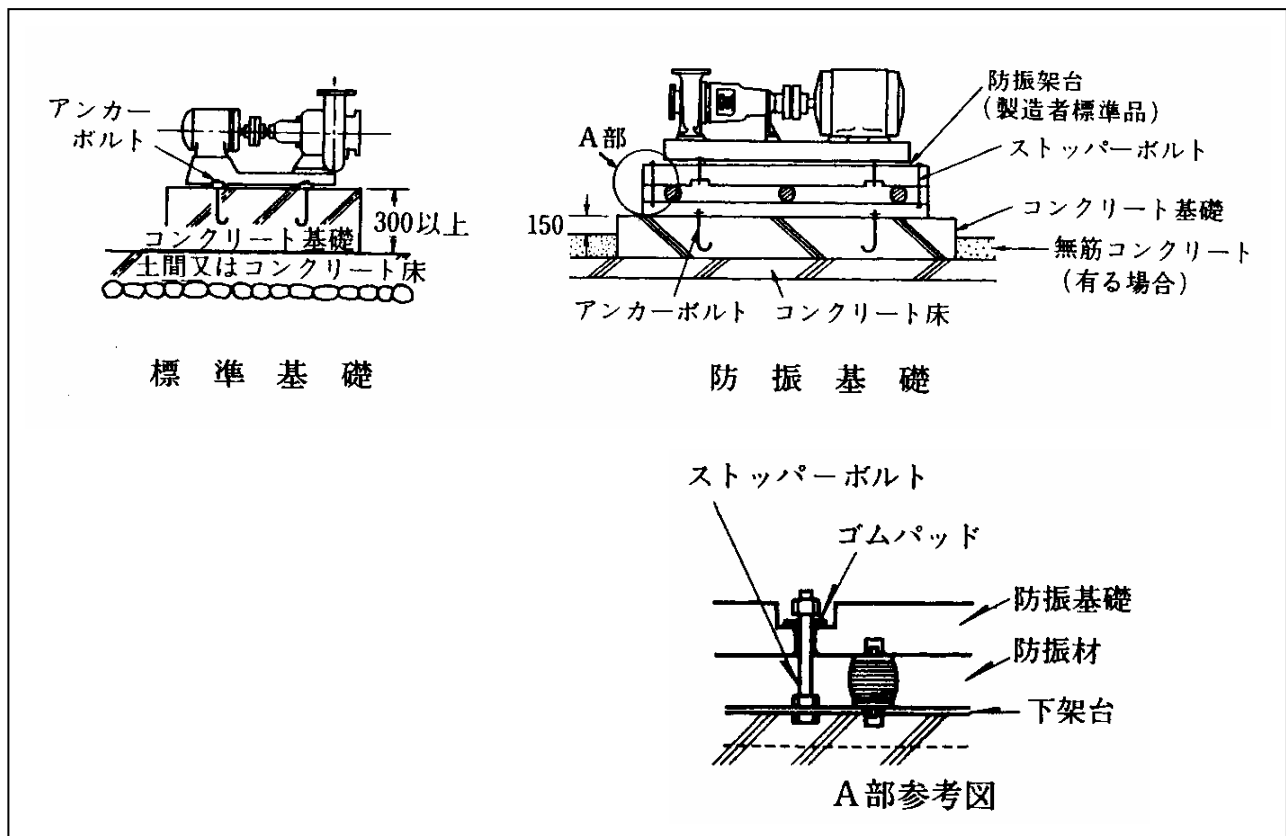
ポンプの基礎高さは300mmが一般的である。基礎コンクリートの周囲には排水溝を設け、ポンプのグラウンドパッキン部からの漏水が確実に流れるようにする。

下階や隣室への騒音、振動対策として防振架台を設けることがある。その場合は、接続する配管に防振継手を設置する。

据付工事の効率化のために、ポンプ廻り配管をユニット化するケースが多くなっている。

【 図 】

図1 コンクリート基礎へのポンプ据付



出典：国土交通省ホームページ、官公庁施設、官庁営繕関係統一基準、公共建築設備工事標準図、機械設備工事編（3）、平成16年度版、118頁、基礎施工要領（四）（a）ポンプ、2004年4月1日掲載、国土交通省大臣官房官庁営繕部、検索日：2006年8月23日、
<http://www.mlit.go.jp/gobuild/index.html>

【出典／参考資料】

- ・国土交通省ホームページ、官公庁施設、官庁営繕関係統一基準、公共建築設備工事標準図、機械設備工事編（3）、平成16年度版、118頁、2004年4月1日掲載、国土交通省大臣官房官庁営繕部